

様式 2

教 科
国 語

種 目
書 写

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての毛筆教材で、硬筆での試し書きのコーナーが設けられ、毛筆の指導が硬筆の能力の基礎を養えるよう、硬筆と毛筆の関連において十分に配慮されている。 • 姿勢と用具の使い方で、写真の角度や解説の文言を工夫し、指導者と学習者、双方の見た角度から示すなど配慮されている。 • 行書における筆使いの特徴などを薄朱墨で筆脈が見て取れる工夫等があり、基礎的・基本的な知識・技能 の習得が図られるよう配慮されている。 • 寄せ書きやメッセージカード、色紙、短歌の短冊、学級目標パネル等、習得した技能を生活に役立てられる場面を多く示し、見通しをもって知識・技能が習得できるよう十分に配慮されている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> • 卒業カレンダーの作成等、3年間の学習を生かして主体的に取り組む課題を位置付けることで、学習意欲を喚起するよう配慮されている。 • 見通しをもって取り組めるよう学習の進め方や目次を明示し、補充教材(毛筆教材)を設けて、個に応じた主体的な学習ができるよう配慮されている。 • 毛筆の学習では、硬筆による「まとめ書き」の欄が設けられ、学んだことを家庭でも確認できるよう配慮されている。 • 筆、墨、硯、紙など毛筆の道具に興味をもたせたり、古典教材を取り上げたりして、伝統・文化に親しめるよう配慮されている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の方への案内状づくりなどを通して、相手を思いやる気持ちを言葉で表現したり、自分たちの決意を示した学級目標を書で表現したりして、共生の大切さや自己の変容に目を向けることなど十分に配慮されている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> • 朱墨の濃淡が鮮明であり、特に、行書について、穂先の動きや筆運びが分かりやすいように記号を使ったり、レイアウトを工夫したりして、十分に配慮されている。 • 3年間の系統性を意識した目次と学年ごとの目次を記すことで、学習の見通しをもてるよう、使いやすさが十分に配慮されている。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> • 毛筆と硬筆の関連を図った教材の構成・配列や、生活に生かせる発展的な学習の位置付けにおいて、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう十分に配慮されている。 • 学習意欲の喚起や学び方の位置付け等において、主体的な態度の育成が図られるよう配慮されている。 • 「地域社会人」の育成が図られる教材等が十分に配列されており、また、記号やレイアウトの工夫や3年間の系統性のある目次などにより、使用上の便宜が十分に配慮されている。